



株式会社 エコニクス
環境レポート 2007



リデュース Reduce · リユース Reuse · リサイクル Recycle

環境への取り組み

当社では、1998年2月に認証取得した環境マネジメントシステム（ISO14001）が今年2月で9年経過し、品質マネジメントシステム（ISO9001）とともに今年3月に継続および更新を完了、現在に至っております。

環境ナビゲーション企業として、限りある資源を有効に使い、また環境負荷を低減するため、使用する資源の量（INPUT）と排出する環境負荷の量（OUTPUT）を監視・測定しています。このような状況を踏まえ、CO₂（温室効果ガス）排出量の削減や3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進など積極的に取り組んでいます。

「エコクス」チーム・マイナス6%

わが国が世界に約束した、温室効果ガス削減“マイナス6%”の達成に向けて、政府をはじめ、地方公共団体、事業者、そして国民一人ひとりが、みんなでひとつの“チーム”として一丸となって協力して活動することをコンセプトとした国民運動です。

当社は、2006年6月からチーム・マイナス6%に参加し、全社員が地球温暖化対策に取り組んでいます。

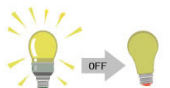


20
28

クールビズ、ウォームビズ期間を定め、執務室内の室温管理を通じたCO₂排出量削減に取り組んでいます。



ゴミの減量化や分別の徹底、再利用化など3Rを推進しCO₂排出量削減に取り組んでいます。



コピー機やOA機器の省エネモード設定、お昼休み並びに執務室内の一部照明を消灯し、無駄な電力消費を抑制しています。



グリーン購入ガイドラインを推進し、名刺、コピー用紙の再生紙、文房具など環境に配慮した製品の購入に努めています。

COOL BIZ

チーム・マイナス6%参加の最初の取り組みとして、2006年7月から9月までの3ヶ月間を「クールビズ」期間と定め、室温管理を通じたCO₂排出量削減の活動を行いました。

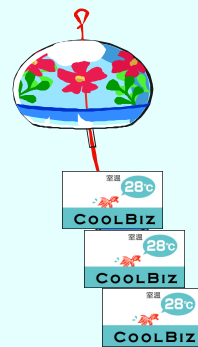
<取り組み結果（昨年同期間比）>

CO₂排出量 25%減（205kgC）
CO₂吸収量 樹木約228本分相当

<室温28 のためのAction>

社内においてクールビズ期間を宣言し、以下のアクションを実施しました。

- ・各フロアにてモニタリングポイントを設定し、ポイントでの室温が28 を大幅に前後しない様コントロール
- ・エアコンパネル、受付、執務室にて掲示物による啓蒙
- ・服装の軽装化を奨励（ノーネクタイ等）
- ・積極的な建物内への風の取り込み
- ・団扇、扇子の活用 等



WARM BIZ

1枚羽織って1 抑制の

エコスタイル勤務励行！

夏の省エネ クールビズに引き続き10月から2007年4月までの6ヶ月間を「ウォームビズ」期間と定め活動しました。

<取り組み結果（昨年同期間比）>

CO₂排出量 15%減（1,332kgC）
CO₂吸収量 樹木約740本分

2006年度（年間）

CO₂排出量 1,536kgC削減
CO₂吸収量 樹木約427本分

<室温20 のためのAction>

- ・各フロアの室温が20 を大幅に前後しないようモニタリングポイントで管理
- ・空調パネル、受付、執務室でのポスター、サインカード等による啓蒙
- ・扇風機等の利用による温風・温暖域の拡散・循環
- ・外気の流入を抑制するためのフィルムシートの活用
- ・ひざ掛け、重ね着など社会常識を逸脱しないよう節度を保った服装等を奨励



INPUT

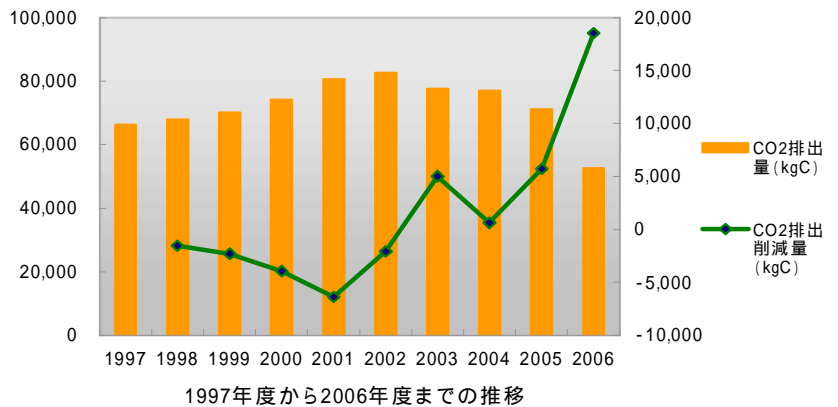
電力使用	本館・別館	138,958.0kwh	前年より 9%増
	環境技術研究所	57,149.0kwh	
	泊事業所	7,518.0kwh	
冷暖房燃料	電力 (本館・別館、200V)	20,047.0kwh	前年より 8%減
	灯油 (本館・環境技術研究所・泊事業所)	5,171.8L	前年より 11%減
車輜燃料	ガソリン	29,013.3L	前年より 18%減
	軽油	23,125.4L	
一般廃棄物・産業廃棄物	廃棄	2076.0kg	前年より 12%増
	資源化	669.6kg	
	リサイクル	3892.8kg	
コピー用紙 (使用枚数)	本館・別館	598,149枚	前年より 11%減
	環境技術研究所	38,681枚	
	泊事業所	25,553枚	



OUTPUT

大気への排出量

CO₂総排出量 52,689.4kgC
前年対比 26%削減



環境貢献度 (CO₂吸収量)

CO₂排出削減量 18,522.7kgC
樹木 (樹齢100年) = 5,145本相当

樹齢100年程度の樹木1本あたりの
CO₂吸収量0.3kgC/月で算出



<参考>

- ・エコクスの森林の環境保全効果
面積 7.3200ha
主な樹種 トドマツ (約7000本)
- ・森林のCO₂吸収量 (1年間)
人のCO₂排出量に換算 38人分相当

1人が1年間に排出するCO₂量12トン/年で算出

*参考文献:

北海道森林管理局 法人の森林による環境貢献度 平成19年報告

環境ナビゲーション企業として

1998年2月に認証取得した環境マネジメントシステム（ISO14001）も、今年2月で9年が経過致しました。今日、弊社の環境マネジメントシステムがスムーズに運用されるようになりましたのは、ひとえに皆様の環境への真摯な取り組みによるものと深く感謝申し上げます。

地球的規模で各国が取り組みを行っている地球温暖化対策は、その予想される影響の大きさや深刻さから最も重要な環境施策とされています。2007年6月に開催された環境サミット（ドイツ：ハイリゲンダム・サミット、6/5～6/8）においても、世界全体の温室効果ガス排出量を2050年までに半減（1990年対比）するという長期目標を掲げ、主要排出国が参加する実効性のある枠組みとなるよう協議され、活動を開始しました。

環境マネジメントシステム運用10年目となる2007年度は、事業活動の積極的な展開を通して温暖化防止対策を始めとする、以下の活動を推進致します。

<環境活動項目>

1. 弊社の事業活動を通じた循環型社会づくりの推進
2. 省エネ活動（クールビズ・ウォームビズ・3R）の推進
3. 積極的な環境情報活動の推進

弊社は、安心・安全・安定な食糧生産環境（生態系）の再生をテーマとして、人が生きるため、自然環境の大切さを考える健全環境への水先案内人『環境ナビゲーション企業』として、社会に貢献していきたいと考えております。皆様におかれましても、環境保全活動に日々取り組まれているかと存じますが、弊社の省エネ活動への取り組みをご理解頂き、ご来社の際はクールビズ等の活動にご協力下さいます様、よろしくお願い申し上げます。

環境方針

Environmental Policy

社の使命

水を基本とする自然と人間の共生する生態社会において、調和ある環境保全と利用開発を事業とし、社会に貢献する。

基本方針

エコニクスは、当社の事業活動が環境に及ぼす有益な影響と負の影響を常に認識し、それらに関して目的・目標を定め、定期的な見直しによるシステムの継続的改善と汚染の予防によりCO₂にターゲットを絞ったパフォーマンスの向上を図る。

また、全社員ならびに関係組織へ環境方針を周知し、法の遵守はもとより環境に対する取り組みの理解と意識の向上に努める。

「エコニクスの森林」を「社の使命」、「基本方針」の原点として位置づける。

環境活動項目

基本方針の達成のために、以下の活動を推進する。

1. 事業活動の展開を通して循環型社会づくりに貢献する
2. 全組織においてウォームビズ、クールビズに取り組む
3. 環境情報を積極的に公開することにより、多くの人々と良好な連携を構築する



発行元 株式会社エコニクス 経営管理部
Http://www.econixe.co.jp
札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目2-14
Tel: 011-807-6811 fax: 011-807-6800
私達は「環境ナビゲーション企業」を目指します。

